

# JR武蔵中原駅に市立図書館の 返却ボックスを設置しました

川崎市立図書館では、7月1日に、新たに図書返却ボックスを南武線の武蔵中原駅に設置しました。今回の返却ボックスの設置につきましては、JR東日本株式会社の御協力により実現しました。駅構内への図書返却ボックスの設置は、本市では初めてとなります。

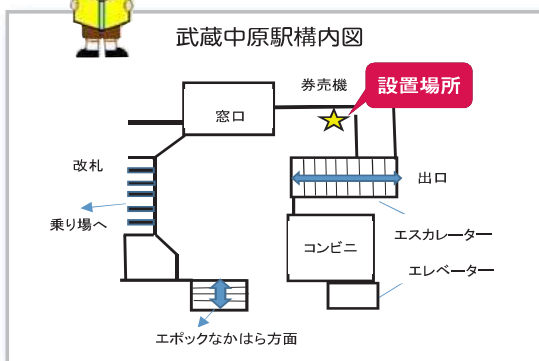
◎ **設置箇所** 駅構内の券売機付近（下図参照）

◎ **利用できる時間** JR武蔵中原駅の初電（朝4時15分頃）から終電（夜0時55分頃）まで

◎ **利用できない日** 年末年始

◎ **その他**

- ・返却本投函後、返却手続きが終了するまでに1日～3日かかります。
- ・川崎市立図書館以外の本は返却できません。また、CD等も破損の恐れがあるため返却できません。
- ・ボックスの収納可能冊数を超えた場合や、駅からの指示などにより利用できない場合があります。



ほかに、現在市内4か所（高津市民館、登戸行政サービスコーナー、鷺沼行政サービスコーナー、有馬・野川生涯学習支援施設）に設置しています。



お問い合わせ先 川崎市立中原図書館  
電話番号 044-722-4932

## 県立川崎図書館が60周年を迎えました ～県立川崎図書館から～

当館は、2番目の県立図書館として昭和34年（1959年）1月に川崎市川崎区富士見に開館しました。当時は技術開発等を支援する県立図書館としての機能と地域住民を対象とした地域図書館の機能を持っていました。

平成7年（1995年）には、川崎駅近くに川崎市立川崎図書館が開館したことにより、地域図書館としての機能を縮小し、平成10年（1998年）には「科学と産業の情報ライブラリー」としてリニューアルオープンしました。

平成30年（2018年）5月には、高津区のKSP（かながわサイエンスパーク）に移転・再開館し、公共図書館として初めて電子ジャーナルを導入するなど「ものづくり技術を支える」専門的図書館としてのサービスを行っています。

そして、今年の1月に開館60周年を迎えました。

このことを記念して、講演会やものづくりカフェ、映画会などの行事を4月から毎月開催しています。

今後の予定としては、11月21日（木）に『小惑星探査機はやぶさ2』とものづくり技術」と題した記念講演会を開催します。元JAXA宇宙科学研究所 安全・品質保証室長／工学博士の清水 幸夫氏をお招きしての講演会となります。参加の申込については県立川崎図書館のホームページ（<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/>）等をご覧ください。

また、当館の展示スペース「ものづくりギャラリー」にて『はやぶさ2』の技術 ～ものづくり図書館の資料から～ という展示を12月11日（水）まで開催し、「はやぶさ2」に搭載されている「イオンエンジン」などの装置がどのような技術で作られているか紹介しています。

この他、開館50周年以降の特色ある活動・移転作業等を記録した「神奈川県立川崎図書館60年史」や、当館で読みたい・読んでほしい図書を当館と関係のある科学者・研究者・技術者・知財関係者等が推薦する「県立川崎図書館で出会う本～研究者、技術者、司書が選ぶ60冊～」を刊行する予定です。

これからも県立川崎図書館をよろしくお願いいたします。

（神奈川県立川崎図書館 廣瀬 洋）



県立川崎図書館電子ジャーナル・データベースコーナー

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘 分館(788-1531)  
幸 図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)  
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅間覧所(946-3271)